

三重県公共工事共通仕様書(平成24年7月)新旧対照表

第1編 共通編

第1章 総則

ページ	現行		改定(案)		備考
	条	条文	条	条文	
目次-6		<p>第5章 無筋、鉄筋コンクリート</p> <p>第1節 適用</p> <p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>第3節 コンクリート</p> <p>5-3-1 一般事項</p> <p>5-3-2 レディーミクストコンクリート</p> <p>5-3-3 配合</p> <p>第4節 コンクリートミキサー船</p> <p>5-4-1 一般事項</p>		<p>第5章 無筋、鉄筋コンクリート</p> <p>第1節 適用</p> <p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>第3節 コンクリート レディーミクストコンクリート</p> <p>5-3-1 一般事項</p> <p>5-3-2 レディーミクストコンクリート 工場の選定</p> <p>5-3-3 配合</p> <p>第4節 コンクリートミキサー船</p> <p>5-4-1 一般事項</p>	誤植の修正
1-14	1-1-14 調査・試験に 対する協力		1-1-14 調査・試験に 対する協力	<p>5. 施工形態動向調査(動向調査・モニタリング調査)</p> <p>受注者は、当該工事が発注者の実施する動向調査及びモニタリング調査の対象工事となった場合には、調査等の必要な協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。</p> <p>6. 施工状況調査</p> <p>受注者は、当該工事が発注者の実施する施工状況調査の対象工事となった場合には、調査等の必要な協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。</p>	施工パッケージ積算方式に係る調査等を新たに位置付け
1-17	1-1-21 建設副産物		1-1-21 建設副産物	<p>6. 舗装切断時の排水処理</p> <p>受注者は、アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水(泥水)を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。</p>	国の共通仕様書と同様の改定
1-40	1-1-39 交通安全管理	<p>2. 輸送災害の防止</p> <p>受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材及び機械などの輸送を伴う工事については、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導員の配置、標識安全施設等の設置場所、その他安全輸送上の事項について計画をたて、災害の防止を図らなければならない。</p>	1-1-39 交通安全管理	<p>2. 輸送災害の防止</p> <p>受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材及び機械などの輸送を伴う工事については、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導警備員の配置、標識安全施設等の設置場所、その他安全輸送上の事項について計画をたて、災害の防止を図らなければならない。</p>	用語の改定

三重県公共工事共通仕様書(平成24年7月)新旧対照表

1-42	1-1-39 交通安全管理	9. 交通安全管理 2) 交通誘導員 ①受注者は、工事の施工に伴って、工事車両の出入口及び交差道路等に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、交通の誘導・整理を行う者(以下「交通誘導員」という。)を配置し、その配置位置、条件を施工計画書に記載し、公衆の交通の安全を確保しなければならない。 ②受注者は、現道上又は現道に近接して行う工事で、やむを得ず工用材料・機械器具等を工事区間に保管する場合には、監督員の承諾を得て一般交通の安全を確保し、所定の標識その他安全施設を設け、状況によっては交通誘導員を配置しなければならない。 ③受注者は、交通誘導員のうち1人は有資格者(平成17年警備業法改正以降の交通誘導警備業務にかかる1級又は2級検定合格者)としなければならない。…	1-1-39 交通安全管理	9. 交通安全管理 2) 交通誘導 警備員 ①受注者は、工事の施工に伴って、工事車両の出入口及び交差道路等に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、交通の誘導・整理を行う者(以下「交通誘導 警備員 」という。)を配置し、その配置位置、条件を施工計画書に記載し、公衆の交通の安全を確保しなければならない。 ②受注者は、現道上又は現道に近接して行う工事で、やむを得ず工用材料・機械器具等を工事区間に保管する場合には、監督員の承諾を得て一般交通の安全を確保し、所定の標識その他安全施設を設け、状況によっては交通誘導 警備員 を配置しなければならない。 ③受注者は、交通誘導 警備員 のうち1人は有資格者(平成17年警備業法改正以降の交通誘導警備業務にかかる1級又は2級検定合格者)としなければならない。…	用語の改定
1-155	3-7-3 アスファルト舗装の材料	14. 混合物の種類とアスファルト量 示方アスファルト量と第1編 3-7-5 アスファルト舗装工の5項の(5)による最終的な配合…	3-7-3 アスファルト舗装の材料	14. 混合物の種類とアスファルト量 示方アスファルト量と第1編 3-7- 7 アスファルト舗装工の5項の(5)による最終的な配合…	誤植の修正
1-171	3-7-9 排水性舗装工	表3-38 アスファルト乳剤の標準的性状 表中 針入度(25℃) 1/10mm 60を超え以下	3-7-9 排水性舗装工	表3-38 アスファルト乳剤の標準的性状 表中 針入度(25℃) 1/10mm 60を超え 150 以下	誤植の修正
1-236	3-15-4 法枠工	19. モルタル又はコンクリートの配合 受注者は、吹付けに使用するモルタル又はコンクリートの配合ならびに水セメント比については、吹付けを行ったのり面で設計基準強度 $\sigma_{ck} = 15$ N/mm ² を満足するように配合試験によって決定しなければならない。	3-15-4 法枠工	19. モルタル又はコンクリートの配合 受注者は、吹付けに使用するモルタル又はコンクリートの配合ならびに水セメント比については、吹付けを行ったのり面で設計基準強度 $\sigma_{ck} = 18$ N/mm ² を満足するように配合試験によって決定しなければならない。	規格値の改定

三重県公共工事共通仕様書(平成24年7月)新旧対照表

1-273	5-3-2 工場の選定	6. コンクリートの配合 表5-1 配合表 表中 No7 場所打杭(水中):ベト杭、リバース杭 スランプ 15	5-3-2 工場の選定	6. コンクリートの配合 表5-1 配合表 表中 No7 場所打杭(水中):ベト杭、リバース杭 スランプ 18	規格値の改定												
建設工事 施工管理 基準(案) P195	4 下層路盤	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">必 要</td> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;">練灰練土・試験法 便覧 [4]-191</td> <td style="width: 25%;">最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 96%以上 X3 97%以上 歩道箇所：設計図書による</td> <td style="width: 20%;">練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値X_0が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X_0が規格値を満足していなければならないが、X_0が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X_0が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。</td> <td style="width: 20%;">※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個</td> </tr> </table>	必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 96%以上 X3 97%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個	4 下層路盤	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">必 要</td> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;">練灰練土・試験法 便覧 [4]-191</td> <td style="width: 25%;">最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 96%以上 X3 97%以上 歩道箇所：設計図書による</td> <td style="width: 20%;">練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値X_0が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X_0が規格値を満足していなければならないが、X_0が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X_0が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。</td> <td style="width: 20%;">例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個</td> </tr> </table>	必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 96%以上 X3 97%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個	規格値の改定
必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 96%以上 X3 97%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個												
必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 96%以上 X3 97%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個												
建設工事 施工管理 基準(案) P196	5 上層路盤	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">必 要</td> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;">練灰練土・試験法 便覧 [4]-191</td> <td style="width: 25%;">最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95.5%以上 X4-6 96.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による</td> <td style="width: 20%;">練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値X_0が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X_0が規格値を満足していなければならないが、X_0が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X_0が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。</td> <td style="width: 20%;">※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個</td> </tr> </table>	必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95.5%以上 X4-6 96.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個	5 上層路盤	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">必 要</td> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;">練灰練土・試験法 便覧 [4]-191</td> <td style="width: 25%;">最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による</td> <td style="width: 20%;">練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値X_0が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X_0が規格値を満足していなければならないが、X_0が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X_0が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。</td> <td style="width: 20%;">例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個</td> </tr> </table>	必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個	規格値の改定
必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95.5%以上 X4-6 96.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個												
必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個												
建設工事 施工管理 基準(案) P197	7 セメント 安定処理路盤	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">必 要</td> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;">練灰練土・試験法 便覧 [4]-191</td> <td style="width: 25%;">最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による</td> <td style="width: 20%;">練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値X_0が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X_0が規格値を満足していなければならないが、X_0が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X_0が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。</td> <td style="width: 20%;">※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個</td> </tr> </table>	必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個	7 セメント 安定処理路盤	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">必 要</td> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;">練灰練土・試験法 便覧 [4]-191</td> <td style="width: 25%;">最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による</td> <td style="width: 20%;">練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値X_0が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X_0が規格値を満足していなければならないが、X_0が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X_0が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。</td> <td style="width: 20%;">例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個</td> </tr> </table>	必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個	規格値の改定
必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個												
必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [4]-191	最大乾荷密度の93%以上 X1-10 95%以上 X4-6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000㎡の場合 =3+(1,000÷1,000) =3+1 ⇒4個												
建設工事 施工管理 基準(案) P199	8 アスファ ルト舗装	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">必 要</td> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;">練灰練土・試験法 便覧 [3]-91</td> <td style="width: 25%;">最大乾荷密度の94%以上 X1-10 96%以上 X4-6 96%以上 X3 96.5%以上</td> <td style="width: 20%;">練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値X_0が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X_0が規格値を満足していなければならないが、X_0が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X_0が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。</td> <td style="width: 20%;">但し、種別練土はコア採取し ないAs合材量(プラント出 荷数量)と練灰練土及び厚さでの 密度管理、または転圧回数に よる管理を行う。 ※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ)</td> </tr> </table>	必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [3]-91	最大乾荷密度の94%以上 X1-10 96%以上 X4-6 96%以上 X3 96.5%以上	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	但し、種別練土はコア採取し ないAs合材量(プラント出 荷数量)と練灰練土及び厚さでの 密度管理、または転圧回数に よる管理を行う。 ※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ)	8 アスファ ルト舗装	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">必 要</td> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;">練灰練土・試験法 便覧 [3]-91</td> <td style="width: 25%;">最大乾荷密度の94%以上 X1-10 96%以上 X4-6 96%以上 X3 96.5%以上</td> <td style="width: 20%;">練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値X_0が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X_0が規格値を満足していなければならないが、X_0が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X_0が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。</td> <td style="width: 20%;">但し、種別練土はコア採取し ないAs合材量(プラント出 荷数量)と練灰練土及び厚さでの 密度管理、または転圧回数に よる管理を行う。 例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ)</td> </tr> </table>	必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [3]-91	最大乾荷密度の94%以上 X1-10 96%以上 X4-6 96%以上 X3 96.5%以上	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	但し、種別練土はコア採取し ないAs合材量(プラント出 荷数量)と練灰練土及び厚さでの 密度管理、または転圧回数に よる管理を行う。 例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ)	規格値の改定
必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [3]-91	最大乾荷密度の94%以上 X1-10 96%以上 X4-6 96%以上 X3 96.5%以上	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	但し、種別練土はコア採取し ないAs合材量(プラント出 荷数量)と練灰練土及び厚さでの 密度管理、または転圧回数に よる管理を行う。 ※測定1箇所=1個とする。 例) ・300㎡の場合 ⇒3個 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ)												
必 要	現場密度の測定	練灰練土・試験法 便覧 [3]-91	最大乾荷密度の94%以上 X1-10 96%以上 X4-6 96%以上 X3 96.5%以上	練灰練土及び乾灰は、10個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足しなければならない。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値 X_0 が規格値を満足していなければならないが、 X_0 が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値 X_0 が規格値を満足していればよい。 2,000㎡までは3個とし、2,000㎡を超える場合は、1,000㎡につき1個とする。	但し、種別練土はコア採取し ないAs合材量(プラント出 荷数量)と練灰練土及び厚さでの 密度管理、または転圧回数に よる管理を行う。 例) ・300㎡以下は省略することができる。 ・2,400㎡の場合 =3+(400÷1,000) =3、4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ)												

三重県公共工事共通仕様書(平成24年7月)新旧対照表

建設工事 施工管理 基準(案) P203	11 路床安 定処理工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">材料</td> <td style="width: 5%;">土の締固め試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 1210</td> <td style="width: 10%;">設計図書による。</td> <td style="width: 10%;">当初及び土質の変化したとき。</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>CB試験</td> <td>締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158</td> <td>設計図書による。</td> <td>当初及び土質の変化したとき。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工</td> <td>必須</td> <td>現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。</td> <td>最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185</td> <td>最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。</td> <td>・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="font-size: small;">訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158</td> </tr> </table>	材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。			CB試験	締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。		施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。	訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158						11 路床安 定処理工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">材料</td> <td style="width: 5%;">土の締固め試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 1210</td> <td style="width: 10%;">設計図書による。</td> <td style="width: 10%;">当初及び土質の変化したとき。</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>CB試験</td> <td>締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158</td> <td>設計図書による。</td> <td>当初及び土質の変化したとき。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工</td> <td>必須</td> <td>現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。</td> <td>最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185</td> <td>最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)</td> <td>・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="font-size: small;">訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158</td> </tr> </table>	材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。			CB試験	締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。		施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。	訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158						補足説明の追加
材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。																																																	
	CB試験	締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。																																																	
施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。																																																
訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158																																																					
材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。																																																	
	CB試験	締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。																																																	
施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。																																																
訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158																																																					
建設工事 施工管理 基準(案) P204	12 表層安 定処理工(表 層混合処理)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">材料</td> <td style="width: 5%;">土の一軸圧縮試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 1216</td> <td style="width: 10%;">設計図書による。</td> <td style="width: 10%;">当初及び土質の変化したとき。</td> <td style="width: 10%;">配合を定めるための試験である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工</td> <td>必須</td> <td>現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。</td> <td>JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法</td> <td>最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。</td> <td>・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="font-size: small;">訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)圧縮試験法便覧[4]-185</td> </tr> </table>	材料	土の一軸圧縮試験	JIS A 1216	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。	配合を定めるための試験である。		その他					施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。	訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)圧縮試験法便覧[4]-185						12 表層安 定処理工(表 層混合処理)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">材料</td> <td style="width: 5%;">土の一軸圧縮試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 1216</td> <td style="width: 10%;">設計図書による。</td> <td style="width: 10%;">当初及び土質の変化したとき。</td> <td style="width: 10%;">配合を定めるための試験である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工</td> <td>必須</td> <td>現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。</td> <td>JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法</td> <td>最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)</td> <td>・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="font-size: small;">訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)圧縮試験法便覧[4]-185</td> </tr> </table>	材料	土の一軸圧縮試験	JIS A 1216	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。	配合を定めるための試験である。		その他					施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。	訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)圧縮試験法便覧[4]-185						補足説明の追加
材料	土の一軸圧縮試験	JIS A 1216	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。	配合を定めるための試験である。																																																
	その他																																																				
施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。																																																
訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)圧縮試験法便覧[4]-185																																																					
材料	土の一軸圧縮試験	JIS A 1216	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。	配合を定めるための試験である。																																																
	その他																																																				
施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。																																																
訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)圧縮試験法便覧[4]-185																																																					
建設工事 施工管理 基準(案) P205	15 補強土 壁工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">材料</td> <td style="width: 5%;">土の締固め試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 1210</td> <td style="width: 10%;">設計図書による。</td> <td style="width: 10%;">当初及び土質の変化したとき。</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>CB試験</td> <td>締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158</td> <td>設計図書による。</td> <td>当初及び土質の変化したとき。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工</td> <td>必須</td> <td>現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。</td> <td>最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185</td> <td>最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。</td> <td>・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="font-size: small;">訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158</td> </tr> </table>	材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。			CB試験	締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。		施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。	訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158						15 補強土 壁工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">材料</td> <td style="width: 5%;">土の締固め試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 1210</td> <td style="width: 10%;">設計図書による。</td> <td style="width: 10%;">当初及び土質の変化したとき。</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>CB試験</td> <td>締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158</td> <td>設計図書による。</td> <td>当初及び土質の変化したとき。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工</td> <td>必須</td> <td>現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。</td> <td>最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185</td> <td>最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)</td> <td>・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="font-size: small;">訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158</td> </tr> </table>	材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。			CB試験	締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。		施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。	訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158						補足説明の追加
材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。																																																	
	CB試験	締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。																																																	
施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。																																																
訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158																																																					
材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。																																																	
	CB試験	締結調査・試験法 便覧 [4]-155, [4]-158	設計図書による。	当初及び土質の変化したとき。																																																	
施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の90%以上。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,500㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)	・最大粒径≦100mmの場合に適 用する。 ・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。																																																
訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)締結調査・試験法便覧[4]-155, [4]-158																																																					
建設工事 施工管理 基準(案) P210	20 河川・海 岸土工等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">材料</td> <td style="width: 5%;">土の締固め試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 1210</td> <td style="width: 10%;">設計図書による。</td> <td style="width: 10%;">当初及び土質の変化時。</td> <td style="width: 10%;">監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工</td> <td>必須</td> <td>現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。</td> <td>最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185</td> <td>最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。</td> <td>・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="font-size: small;">訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定</td> </tr> </table>	材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化時。	監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。		その他					施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。	訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定						20 河川・海 岸土工等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">材料</td> <td style="width: 5%;">土の締固め試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 1210</td> <td style="width: 10%;">設計図書による。</td> <td style="width: 10%;">当初及び土質の変化時。</td> <td style="width: 10%;">監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工</td> <td>必須</td> <td>現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。</td> <td>最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185</td> <td>最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)</td> <td>・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="font-size: small;">訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定</td> </tr> </table>	材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化時。	監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。		その他					施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。	訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定						補足説明の追加
材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化時。	監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。																																																
	その他																																																				
施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。																																																
訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定																																																					
材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化時。	監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。																																																
	その他																																																				
施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。																																																
訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定																																																					
建設工事 施工管理 基準(案) P210	21 砂防土 工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">材料</td> <td style="width: 5%;">土の締固め試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 1210</td> <td style="width: 10%;">設計図書による。</td> <td style="width: 10%;">当初及び土質の変化時。</td> <td style="width: 10%;">監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工</td> <td>必須</td> <td>現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。</td> <td>最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185</td> <td>最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。</td> <td>・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="font-size: small;">訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定</td> </tr> </table>	材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化時。	監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。		その他					施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。	訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定						21 砂防土 工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">材料</td> <td style="width: 5%;">土の締固め試験</td> <td style="width: 10%;">JIS A 1210</td> <td style="width: 10%;">設計図書による。</td> <td style="width: 10%;">当初及び土質の変化時。</td> <td style="width: 10%;">監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工</td> <td>必須</td> <td>現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。</td> <td>最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185</td> <td>最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)</td> <td>・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="font-size: small;">訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定</td> </tr> </table>	材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化時。	監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。		その他					施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。	訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定						補足説明の追加
材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化時。	監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。																																																
	その他																																																				
施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。																																																
訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定																																																					
材料	土の締固め試験	JIS A 1210	設計図書による。	当初及び土質の変化時。	監督員との協議の上で、(再)転圧を行うものとする。																																																
	その他																																																				
施工	必須	現場密度の測定 分右記試験方法 (3種欄)のいづ れかを実施する。	最大粒径≦53mm: JIS A 1214 JIS A 1210 A・B 法 最大粒径>53mm: 締結調査・試験法 便覧 [4]-185	最大乾燥密度の85%以上。又は 設計図書に示された値。 500㎥につき1回の割合で行 う。但し、1,000㎥未満の工事 は1工事当たり3回以上。 (1回は3種の試験採取)	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監督員 との協議の上で、(再)転圧を 行うものとする。																																																
訂正される用い(再)【設計図書に示された値】 1日以内またはその翌日(再)現場密度測定																																																					

三重県公共工事共通仕様書(平成24年7月)新旧対照表

<p>建設工事 施工管理 基準(案) P211</p>	<p>22 道路土 工(道路・農 道・林道等)</p>	<table border="1"> <tr> <td>施工</td> <td>現場密度の測定 ※右記試験方法 (3種)のいずれ れかを実施する。</td> <td>最大粒径$\leq 53\text{mm}$: JIS A 1214 JIS A 1210 A+B 法 最大粒径$> 53\text{mm}$: 舗装調査・試験 法便覧 [4]-185</td> <td>・路体：最大乾燥密度の85%以上。 ・路床：最大乾燥密度の90%以上。 その他、設計図書による。</td> <td>路体の場合、1,000m^3につき1 回の割合で行う。但し、 5,000m^3未満の工事は、1工事 当たり3回以上。 路床の場合、500m^3につき1回 の割合で行う。但し、1,500m^3 未満の工事は1工事当たり3回 以上。</td> <td>・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監理員 と協議の上で、(再)転圧を行 うものとする。</td> </tr> </table>	施工	現場密度の測定 ※右記試験方法 (3種)のいずれ れかを実施する。	最大粒径 $\leq 53\text{mm}$: JIS A 1214 JIS A 1210 A+B 法 最大粒径 $> 53\text{mm}$: 舗装調査・試験 法便覧 [4]-185	・路体：最大乾燥密度の85%以上。 ・路床：最大乾燥密度の90%以上。 その他、設計図書による。	路体の場合、1,000 m^3 につき1 回の割合で行う。但し、 5,000 m^3 未満の工事は、1工事 当たり3回以上。 路床の場合、500 m^3 につき1回 の割合で行う。但し、1,500 m^3 未満の工事は1工事当たり3回 以上。	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監理員 と協議の上で、(再)転圧を行 うものとする。	<p>22 道路土 工(道路・農 道・林道等)</p>	<table border="1"> <tr> <td>施工</td> <td>現場密度の測定 ※右記試験方法 (3種)のいずれ れかを実施する。</td> <td>最大粒径$\leq 53\text{mm}$: JIS A 1214 JIS A 1210 A+B 法 最大粒径$> 53\text{mm}$: 舗装調査・試験 法便覧 [4]-185</td> <td>・路体：最大乾燥密度の85%以上。 ・路床：最大乾燥密度の90%以上。 その他、設計図書による。</td> <td>路体の場合、1,000m^3につき1 回の割合で行う。但し、 5,000m^3未満の工事は、1工事 当たり3回以上。 路床の場合、500m^3につき1回 の割合で行う。但し、1,500m^3 未満の工事は1工事当たり3回 以上。 (注)は個の(資料採取)</td> <td>・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監理員 と協議の上で、(再)転圧を行 うものとする。</td> </tr> </table>	施工	現場密度の測定 ※右記試験方法 (3種)のいずれ れかを実施する。	最大粒径 $\leq 53\text{mm}$: JIS A 1214 JIS A 1210 A+B 法 最大粒径 $> 53\text{mm}$: 舗装調査・試験 法便覧 [4]-185	・路体：最大乾燥密度の85%以上。 ・路床：最大乾燥密度の90%以上。 その他、設計図書による。	路体の場合、1,000 m^3 につき1 回の割合で行う。但し、 5,000 m^3 未満の工事は、1工事 当たり3回以上。 路床の場合、500 m^3 につき1回 の割合で行う。但し、1,500 m^3 未満の工事は1工事当たり3回 以上。 (注)は個の(資料採取)	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監理員 と協議の上で、(再)転圧を行 うものとする。	<p>補足説明の追加</p>																																																																																																		
施工	現場密度の測定 ※右記試験方法 (3種)のいずれ れかを実施する。	最大粒径 $\leq 53\text{mm}$: JIS A 1214 JIS A 1210 A+B 法 最大粒径 $> 53\text{mm}$: 舗装調査・試験 法便覧 [4]-185	・路体：最大乾燥密度の85%以上。 ・路床：最大乾燥密度の90%以上。 その他、設計図書による。	路体の場合、1,000 m^3 につき1 回の割合で行う。但し、 5,000 m^3 未満の工事は、1工事 当たり3回以上。 路床の場合、500 m^3 につき1回 の割合で行う。但し、1,500 m^3 未満の工事は1工事当たり3回 以上。	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監理員 と協議の上で、(再)転圧を行 うものとする。																																																																																																														
施工	現場密度の測定 ※右記試験方法 (3種)のいずれ れかを実施する。	最大粒径 $\leq 53\text{mm}$: JIS A 1214 JIS A 1210 A+B 法 最大粒径 $> 53\text{mm}$: 舗装調査・試験 法便覧 [4]-185	・路体：最大乾燥密度の85%以上。 ・路床：最大乾燥密度の90%以上。 その他、設計図書による。	路体の場合、1,000 m^3 につき1 回の割合で行う。但し、 5,000 m^3 未満の工事は、1工事 当たり3回以上。 路床の場合、500 m^3 につき1回 の割合で行う。但し、1,500 m^3 未満の工事は1工事当たり3回 以上。 (注)は個の(資料採取)	・左記の規格値を満たしてい ても、規格値を著しく下回ってい る点が存在した場合は、監理員 と協議の上で、(再)転圧を行 うものとする。																																																																																																														
<p>建設工事 施工管理 基準(案) P223</p>	<p>32 プラント 再生舗装工</p>	<table border="1"> <tr> <td>現場密度の測定</td> <td>舗装調査・試験法 便覧 [3]-91</td> <td>基準密度の94%以上。 再アス処理の場合、基準密度の 93%以上。</td> <td>・練詰め度及び乾度は、10個の 測定値の平均値X_0が規格値を満 足しなければならない。また、 10個の測定値が得たい場合は 3個の測定値の平均値X_0が規格 値を満足していなければならない が、X_0が規格値をはずれた場 合は、さらに3個のデータを加 えた平均値X_0が規格値を満足し ていなければならない。 ・2,000m^2までは3個とし、 2,000m^2を超える場合は、1,000 m^2につき1個とする。</td> <td>容積1箇所=1個とする。 例) ・300m^2の場合 ⇒3個 ・2,400m^2の場合 = 3 + (400÷1,000) = 3.4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000m^2の場合 = 3 + (1,000÷1,000) ⇒4個</td> </tr> </table>	現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧 [3]-91	基準密度の94%以上。 再アス処理の場合、基準密度の 93%以上。	・練詰め度及び乾度は、10個の 測定値の平均値 X_0 が規格値を満 足しなければならない。また、 10個の測定値が得たい場合は 3個の測定値の平均値 X_0 が規格 値を満足していなければならない が、 X_0 が規格値をはずれた場 合は、さらに3個のデータを加 えた平均値 X_0 が規格値を満足し ていなければならない。 ・2,000 m^2 までは3個とし、 2,000 m^2 を超える場合は、1,000 m^2 につき1個とする。	容積1箇所=1個とする。 例) ・300 m^2 の場合 ⇒3個 ・2,400 m^2 の場合 = 3 + (400÷1,000) = 3.4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000 m^2 の場合 = 3 + (1,000÷1,000) ⇒4個	<p>32 プラント 再生舗装工</p>	<table border="1"> <tr> <td>目視</td> <td>目視</td> <td>目視</td> <td>目視</td> <td>目視</td> <td>目視</td> </tr> <tr> <td>現場密度(初期練 詰め時)</td> <td>JIS Z 8710 温度計による</td> <td>現場密度の測定</td> <td>舗装調査・試験法 便覧 [3]-91</td> <td>基準密度の94%以上。 再アス処理の場合、基準密度の 93%以上。</td> <td>・練詰め度及び乾度は、10個の 測定値の平均値X_0が規格値を満 足しなければならない。また、 10個の測定値が得たい場合は 3個の測定値の平均値X_0が規格 値を満足していなければならない が、X_0が規格値をはずれた場 合は、さらに3個のデータを加 えた平均値X_0が規格値を満足し ていなければならない。 ・2,000m^2までは3個とし、 2,000m^2を超える場合は、1,000 m^2につき1個とする。</td> </tr> </table>	目視	目視	目視	目視	目視	目視	現場密度(初期練 詰め時)	JIS Z 8710 温度計による	現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧 [3]-91	基準密度の94%以上。 再アス処理の場合、基準密度の 93%以上。	・練詰め度及び乾度は、10個の 測定値の平均値 X_0 が規格値を満 足しなければならない。また、 10個の測定値が得たい場合は 3個の測定値の平均値 X_0 が規格 値を満足していなければならない が、 X_0 が規格値をはずれた場 合は、さらに3個のデータを加 えた平均値 X_0 が規格値を満足し ていなければならない。 ・2,000 m^2 までは3個とし、 2,000 m^2 を超える場合は、1,000 m^2 につき1個とする。	<p>語句の削除及び 例示の修正</p>																																																																																													
現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧 [3]-91	基準密度の94%以上。 再アス処理の場合、基準密度の 93%以上。	・練詰め度及び乾度は、10個の 測定値の平均値 X_0 が規格値を満 足しなければならない。また、 10個の測定値が得たい場合は 3個の測定値の平均値 X_0 が規格 値を満足していなければならない が、 X_0 が規格値をはずれた場 合は、さらに3個のデータを加 えた平均値 X_0 が規格値を満足し ていなければならない。 ・2,000 m^2 までは3個とし、 2,000 m^2 を超える場合は、1,000 m^2 につき1個とする。	容積1箇所=1個とする。 例) ・300 m^2 の場合 ⇒3個 ・2,400 m^2 の場合 = 3 + (400÷1,000) = 3.4 ⇒4個 (小数点以下切り上げ) ・3,000 m^2 の場合 = 3 + (1,000÷1,000) ⇒4個																																																																																																															
目視	目視	目視	目視	目視	目視																																																																																																														
現場密度(初期練 詰め時)	JIS Z 8710 温度計による	現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧 [3]-91	基準密度の94%以上。 再アス処理の場合、基準密度の 93%以上。	・練詰め度及び乾度は、10個の 測定値の平均値 X_0 が規格値を満 足しなければならない。また、 10個の測定値が得たい場合は 3個の測定値の平均値 X_0 が規格 値を満足していなければならない が、 X_0 が規格値をはずれた場 合は、さらに3個のデータを加 えた平均値 X_0 が規格値を満足し ていなければならない。 ・2,000 m^2 までは3個とし、 2,000 m^2 を超える場合は、1,000 m^2 につき1個とする。																																																																																																														
<p>様式一覧</p>	<p>第12号様式 P30</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">段階確認書</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">施工予定表</p> <p style="text-align: center;">下記のとおり施工段階の予定時期を報告します。</p> <p>工事番号 _____ 工事名 _____ 現場代理人 _____ 印</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>確認時期項目</th> <th>施工予定時期</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">通知書</p> <p style="text-align: center;">下記の種別について、段階確認を行う予定ですので通知します。</p> <p style="text-align: right;">監督員 _____ 印</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>確認時期項目</th> <th>確認時期予定日</th> <th>確認実施日等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> </div>	種 別	細 別	確認時期項目	施工予定時期	記 事																															種 別	細 別	確認時期項目	確認時期予定日	確認実施日等																<p>第12号様式 P30</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">段階確認書</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">施工予定表</p> <p style="text-align: center;">下記のとおり施工段階の予定時期を報告します。</p> <p>工事番号 _____ 工事名 _____ 現場代理人 _____ 印</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>確認項目</th> <th>施工予定時期</th> <th>記 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">通知書</p> <p style="text-align: center;">下記の種別について、段階確認を行う予定ですので通知します。</p> <p style="text-align: right;">監督員 _____ 印</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>確認項目</th> <th>確認時期予定日</th> <th>確認実施日等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> </div>	種 別	細 別	確認項目	施工予定時期	記 事																															種 別	細 別	確認項目	確認時期予定日	確認実施日等																<p>誤植の修正</p>
種 別	細 別	確認時期項目	施工予定時期	記 事																																																																																																															
種 別	細 別	確認時期項目	確認時期予定日	確認実施日等																																																																																																															
種 別	細 別	確認項目	施工予定時期	記 事																																																																																																															
種 別	細 別	確認項目	確認時期予定日	確認実施日等																																																																																																															